

志賀自然教育研究施設昭和61年度事業報告

I 運営委員会

第1回 昭和61年6月19日（教育学部第2会議室）

昭和60年度事業報告・決算報告，昭和61年度事業案・予算について討議・承認。

第2回 昭和61年10月3日（志賀自然教育研究施設）

施設の将来展望と営繕要求について討議。

II 施設管理

ボイラー用重油タンクの新設工事。

III 出版

- a. 研究業績 No. 24 (pp. 55) の編集，印刷配布（600部）。
- b. 園内案内パンフレット5,000部印刷配布。
- c. 「長池の四季」12回（各400部）発行。
- d. 「長池だより」12回（各400部）発行。

IV 自然観察会・園内解説

- a. 園内自然解説（19団体2,989名）
- b. 自然観察会（16回158名）

V 合宿研修の受け入れ

昭和61年度教員養成課程学生合宿研修

6月21日－6月30日（1－3班）

7月16日－7月25日（4－6班）

8月19日－8月28日（7－9班）

VI 大学公開講座

公開講座「自然保護」，7月3日，8月3日，9月4日，10月2日の4日間の日程で，志賀高原及びキャノ平を中心に野外講義を実施，参加者15名。

VII 施設利用状況

宿泊施設の利用者数は延べ1,873名であり，そのうちわけは，夏期（6～9月）1,176名，冬期（4，5月及び10～3月）697名であった。昨年度より200名減少している。

展示館及び自然観察路等の野外施設の利用状況は，展示館入口に名簿をおいて記入してもらうことによって調査した。その記録にもとづいて表1～3を作製した。それによると昨年より約2,000名記帳者は減少した。特に県外の中学校の数が減っているようであるが，これは団体客が一番よく利用する7月の上・中旬が，いくつもの学校で園内が混雑する場合がみられ，思ったような活動ができないため他の場所へ訪問先を変更したりしていることも考えられる。今後の課題である。これに対し一般の団体（少グループ）の増加は，家族型レジャーの利用先として当園が利用されていることを物語っているように思う。

昭和61年度入館者数

表1 来館団体の種類

	県 外		県 内		計	
	団体数(%)	人 数(%)	団体数(%)	人 数(%)	団体数(%)	人 数(%)
小 学 校	10 (4.8)	1,011 (9.7)	5 (6.9)	628 (14.5)	15 (5.3)	1,634 (11.1)
中 学 校	21 (10.0)	2,513 (24.2)	5 (6.9)	1,125 (26.3)	26 (9.2)	3,638 (24.8)
高 等 学 校	23 (11.0)	3,005 (29.0)	3 (4.2)	1,010 (23.5)	26 (9.2)	4,015 (27.4)
大 学	15 (7.1)	613 (5.9)	3 (4.2)	208 (4.8)	18 (6.4)	821 (5.6)
一 般	141 (67.1)	3,231 (31.2)	56 (77.8)	1,318 (30.8)	197 (69.9)	4,549 (31.1)
計	210(100.0)	10,373(100.0)	72(100.0)	4,284(100.0)	282(100.0)	14,657(100.0)

表2 団体の県内外の比率(%)

団体の種類	小 学 校	中 学 校	高等学校	大 学	一 般	計
県 内	33.3	19.3	11.5	16.7	28.5	29.2
県 外	66.6	80.7	88.5	83.3	71.5	70.8

表3 月別参観者数

月	個 人 (%)	団 体		計 (%)
		団 体 数 (%)	人 数 (%)	
5	241 (5.4)	18 (6.4)	729 (5.0)	970 (5.0)
6	233 (5.2)	24 (8.5)	1,438 (9.8)	1,671 (8.8)
7	765 (17.2)	97 (34.4)	5,915 (40.5)	6,680 (34.9)
8	2,748 (61.4)	92 (32.7)	5,518 (37.6)	8,266 (43.3)
9	269 (6.1)	21 (7.4)	704 (4.8)	973 (5.1)
10	208 (4.6)	30 (10.6)	353 (2.4)	561 (2.9)
11	11 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	11 (0.0)
計	4,475(100.0)	282(100.0)	14,657(100.0)	19,132(100.0)